

まちなかに ダイブせよ!!



「つくる」から「つかう」へ。

これからの丸亀のまちづくりを一緒に考えませんか？

丸亀市では、官民連携によるまちづくりとして、「遊休不動産の利活用」の取り組みを進めてきました。その一環で、まちなか再生のコンセプトとして「やりたいができる、出番と居場所があるまち」を定めました。その動きの中で、株式会社スナック(家守会社)や株式会社HYAKUSHO(都市再生推進法人)の2社のまちづくり会社が設立され、民間を中心としたまちづくりが進んできています。市役所庁舎の再整備に加え、市民交流活動センター(マルタス)の運営も開始され、市民会館(みんなの劇場)の整備・指定管理者の選定の段階に移行しています。今後、大手町再整備の取り組みも折り返しを迎え、今後丸亀市のまちなかは「つくる」フェーズから、「つかう」フェーズに入っていきます。その「つかう」をみなさんと一緒に考えながら進めていくための勉強会を開催しますので、ぜひご参加ください。

2023 **10/13** FRI 18:00-20:00

丸亀港合同待合所3階

丸亀市福島町127-16(丸亀駅北口から徒歩約10分) 参加申込はこちらから! ↑

参加無料

定員30名
程度



GUEST



佐々木 貴宏氏
(豊田市役所職員)

トヨタ自動車(株)の企業城下町として発展を遂げている愛知県豊田市では、これからの時代の豊かな街のあり方を見据えてまちの主役を「車から人へ」と転換することを目指し、豊田市駅東口まちなか広場(通称:とよしば)や新豊田駅東口駅前広場(通称:新とよパーク)の整備に向けた具体的検討が開始され、どちらも2019年から供用が開始されました。一貫して行政(管理者)と民間・市民(担い手)が、それぞれの覚悟を持って互いを尊重しながら検討してきたことで、「自由と責任」のもとでチャレンジできる環境と「新しい自治の仕組み」を生み出しています。その整備と仕組みづくりに携わってきた豊田市役所の佐々木様をお招きし、豊田市の新しいまちづくりの手法と哲学についてお聞きする機会としたいと思います。

GUEST PROFILE

大学卒業後、土木コンサルに入社し1年間設計を学んだ後、橋梁施工会社に転職し現場監督として10年間勤務。その後、豊田市役所に民間採用土木技術職として入庁。道路・橋梁保全部門および都市整備部門を経て、現在、商業観光課に在籍し中心市街地のエリアマネジメント推進に取り組む。「都心環境計画」に基づく駅周辺の再整備(つくる)と、とよしばや新とよパーク、あそべるとよたプロジェクトなどの公共空間活用(つかう)に携わり、民主導によるまちづくりの重要性を認識し、民間団体の伴奏支援を実演中。



〈とよしば〉
将来的な広場整備に向けた
チャレンジの場(実証実験)



〈Toyota Street Market〉
ヒトモノも景色もゆるやかにつながる
小さなコミュニティ



〈新とよパーク〉
「自由と責任」のもと、
やりたいことを実現する広場